

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和2年6月17日（水）

2 確認箇所

Eタンクエリア

3 確認項目

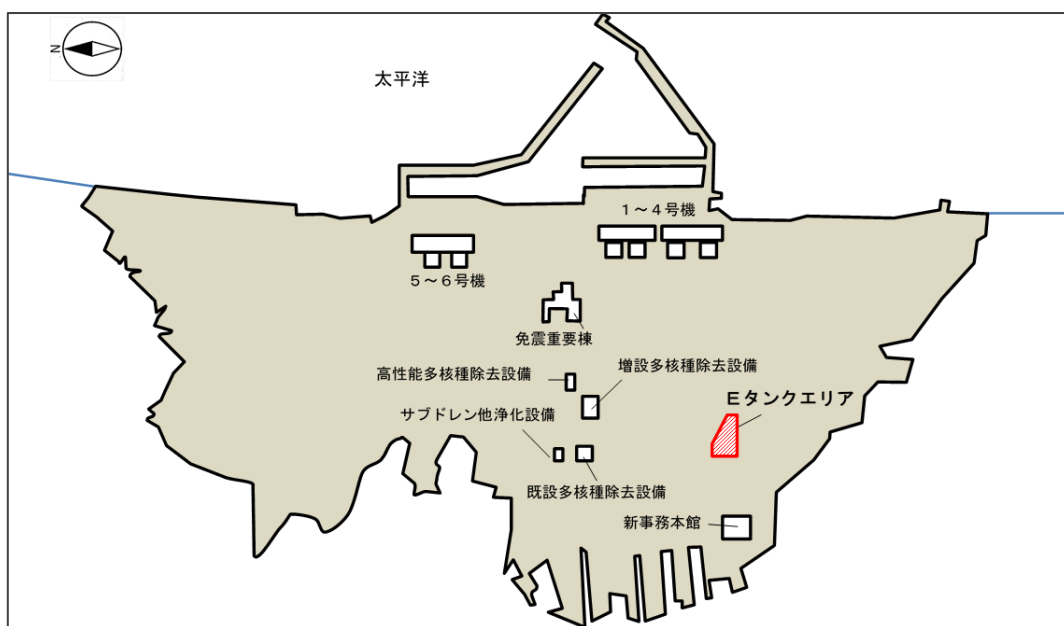
Eタンクエリアのフランジ型タンクの解体工事進捗状況

4 確認結果の概要

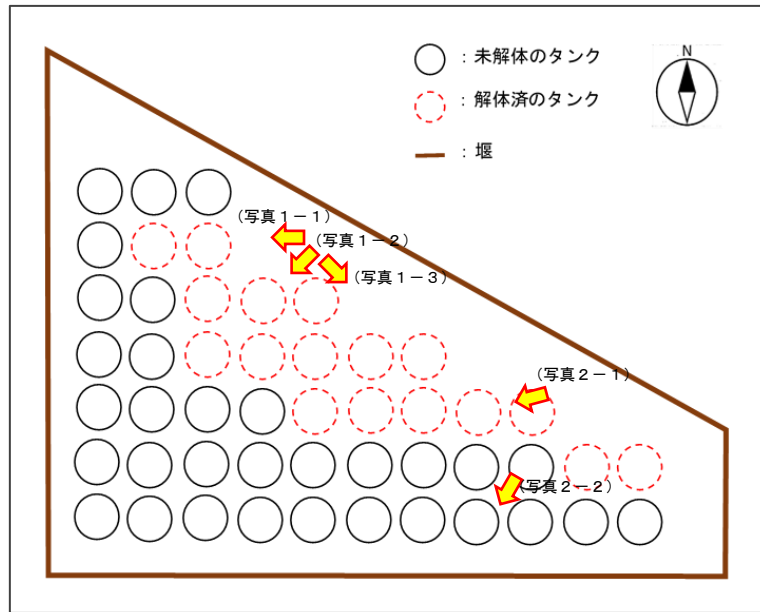
前回（令和元年12月13日）に引き続き、Eタンクエリアのフランジ型タンクの解体状況等を確認した。（図1）

なお、フランジ型タンクの解体作業にあたっては、通常、タンク内面に付着した放射性物質の飛散を抑制させるため、塗料を塗布した上で解体作業を実施しているが、Eタンクエリアにおいては新技術としてタンク内面に付着した放射性物質を取り除く「レーザー除染工法」が導入されている。

- ・現場確認時に作業は実施されていなかったが、全49基中17基の解体が完了していた。（図2、写真1）
- ・一部のタンクにはレーザー除染によって取り除かれた放射性物質を吸引するためのダクト、集塵機等が設置されていた。（写真2）



（図1） 福島第一原子力発電所構内概略図



(図2) Eタンクエリア概略図



(写真1-1)



(写真1-2)



(写真1-3)



(写真2-1)

レーザー除染関連装置



(写真2-2)

レーザー除染によってタンク内面から取り除かれた放射性物質を吸引するためのダクト

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。